

# 11月14日図書館総合展

## 図書館サービスにおける ユニバーサルデザイン

(株) ユーディット 会長兼シニアフェロー  
同志社大 放送大 美作大 客員教授  
関根 千佳

## 図書館とのかかわり

- 1980年代後半のアメリカで出会った人々
  - 図書館で情報検索をする盲導犬ユーザーとの出会い
- 日本でも同じ技術を広めたい
  - 93年に日本IBMで障害者支援センター設立
  - てんやく広場⇒ないーぶネット⇒サピエへ
  - ホームページリーダーなどの開発にかかわる
- 98年に独立し株式会社ユーディットを創業
  - 情報のユニバーサルデザイン研究所 全員在宅勤務
- 2012年から同志社大学政策学部へ（2017～客員）
  - ユニバーサルデザインとジェロントロジー（高齢学）
- 図書館のUDも研究

# ICTのユニバーサルデザイン

- ドコモらくらくホン
  - 2300万台以上出荷
  - らくらくスマホも
- セブン銀行のATM
  - 音声で案内可能
  - 画面の見やすさに配慮
  - 視覚障害者や高齢者に好評→銀行探すより楽！
  - 4か国語に対応



共に視覚障害のデザイナーが貢献

# 進化する「本」

## Amazon Kindle Fire

- 全盲、弱視など多様なユーザーに配慮
- 米国ではユーザーの6割がシニア
- 美しいTTS（合成音声）が5カ国語で
- 拡大、色変換など自在に
- 大学や高校で全ての教科書を電子化する試みも
- 電気がない途上国で便利



# リハビリテーション法508条 (86年制定 99年と16年に改訂 )

政府のWebサイトや、連邦政府が新たに購入する情報機器やソフトウェアなどは、それが過度の負担とならない限り、電子・情報技術アクセシビリティ基準を満たさなければならず、違反した場合は提訴される。

性別・人種などに  
続く「公民権法」  
の一部として情報  
アクセスは人権

日本企業にとって  
は非関税障壁？！

GSA **Section508.gov**  
GSA Government-wide Section 508 Accessibility Program

Site Map About Us Accessibility Contact Us Plug-Ins

Home » Welcome to Section508.gov

- Learn**  
Understand Section 508 Law and Regulations
- Buy**  
Buy Accessible Procurement and Contracting
- Build**  
Accessible Development and Repair
- Manage**  
Agency Section 508 Programs
- Sell**  
Vendors Selling Accessible ICT

## 508条の影響で欧米のICTはUDが基本に

- 学校やオフィス・図書館のUDは最優先事項
- 幼児から高等教育までインクルージョン進む
  - 大学などの障害者の割合 7~10%(日本は0.1%か)
- 省庁のトップに障害者が多数活躍
- ICTや製品がUDであることは当たり前  
アクセシビリティ機能は標準装備
- 初めから書籍も映像もコンテンツはすべてUDに

**Born Digital = Born Accessible**

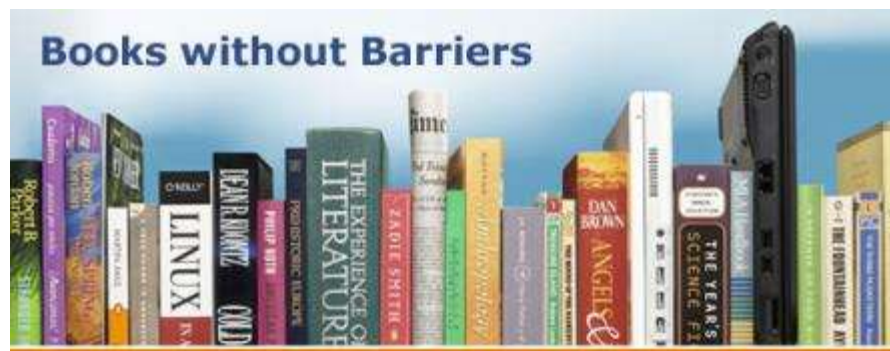
- EAA (EUのアクセシビリティ法) も成立



# BOOKSHAREプロジェクト

[HTTP://WWW.BOOKSHARE.ORG/](http://www.bookshare.org/)

- 障害のある子供、親、先生からの依頼で
  - あらゆる本を「自炊」
  - OCRでテキスト化し
  - 1週間以内にデジタル化して届ける
  - 世界中に拠点あり
  - 日本は著作権で×
- 
- あらゆる書物を最初からUDに



# 大学コンソーシアム京都 大学のUD研究

- 同志社大学、京都大学、京都産業大学の3校で
- 同志社の障害学生は約100名、ボランティア400名
- 障害学生支援のプロや、建築、医学、政策などの教授、当事者が集結
- ハード面、ソフト面でのデータ収集、配慮点をまとめて他の50大学へ発信
- 図書館やWebのUDも

大学は日本で唯一インクルーシブな社会？





# 参考：京都の3大学における図書館のUDサービス

	同志社大学	京都大学	京都産業大学
図書館窓口	窓口スタッフに対し、障がい学生支援室による研修（点字室の利用方法、ガイドヘルプ、車椅子介助等）を実施。担当者に、図書館利用の可能性のある障がい学生情報を共有し、必要に応じて支援内容を相談・検討・対応。	障害学生支援ルームによる研修を実施。必要に応じて、障害学生支援ルームに相談。	必要に応じて障害学生教育支援センターに相談
図書館蔵書	図書館内に点字本蔵書、点字プリンター、拡大読書器を設置。館内が複雑なつくりであるため、窓口スタッフから死角になるエリアから呼び出せるよう呼び出しボタン貸出。	点字本蔵書、拡大読書器の設置、車椅子用電動昇降式キャレルデスクの設置、対面朗読室有り。	対面朗読時に個室を準備
電子データ化	電子データ化は障がい学生支援室等が対応。	電子データ化は障害学生支援ルームで対応。	電子データ化は障害学生教育支援センターで対応
スペシャルニーズへの対応	本人と相談の上、検討し、必要に応じて障がい学生支援室等からスタッフを派遣。	必要に応じて、障害学生支援ルームに相談。	必要に応じて障害学生教育支援センターに相談

# ご清聴ありがとうございました

参考書籍・サイト

株式会社ユーディットのサイト <http://www.udit.jp/>

- 「ユニバーサルデザインのちから」生産性出版
- 「スローなユビキタスライフ」地湧社
- 『「誰でも社会」へ デジタル時代のユニバーサルデザイン』 岩波書店
- 「シニアよ！ITを持って地域にもどろう」NTT出版
- 「スマート・エイジング入門」NTT出版
- 「情報社会のユニバーサルデザイン」NHK出版
- 「ソーシャル・イノベーション」法律文化社